

井原市公共交通会議（令和４年度第３回）議事録

と き 令和４年７月２２日（金）

15：00～16：30

ところ 井原市役所４階大会議室

1. 開 会

会議の成立を報告

- ・ 出席者 委員 25 名中 22 名（実出席 20 名、代理出席 2 名）

2. 大舌会長あいさつ

- ・ 委員の異動について報告
- ・ 委員の自己紹介（井原鉄道株式会社 榎尾俊之委員）

3. 協 議

1）公共交通再編による利用状況の変化と「あいあいカー」に関するアンケート実施結果について

- ・ 事務局より『公共交通再編による利用状況の変化と「あいあいカー」に関するアンケート実施結果』について説明

（委員） 設定されている乗降場所の数が少ないと思う。既存のバス停での乗降は現在できないと思われるが、今後は既存のバスを活用する予定はあるのか。また、井原地区に行くためには、芳井支所で乗り換えないといけないという話と、井原地区まで直行できるという話を両方聞くことがある。今後、地域住民や身体障害者福祉連合会等に説明をしないといけないため、このことについて伺いたい。

（事務局） 乗降場所について、市広報と一緒に配布した「あいあいカー」のご利用案内では、代表的な箇所を抜粋して掲載しているが、既存のバス停も含まれており、バス停から乗降することも可能である。
また、芳井・美星地区から井原地区の中心部まで、乗り換えなしで利用できるようになっている。

（委員） アンケート調査の結果について、「あいあいカー」の利用登録者は芳井・美星地区で人口に対してどの程度の割合なのか。また今後は運転免許証を返納する人が多くなると思うので、利用登録していない人のアンケート調査も実施した方が良いのではないか。

アンケート調査の結果では、「あいあいカー」の乗り継ぎ先として一般のタクシーの割合が高いが、時間帯等の連携はきちんとされているかわかれば教えてほしい。

「あいあいカー」のサービスに対する満足度で「始発便（第１便）の運行

時刻」のやや不満・不満の割合が高いが、何か良い案があれば聞かせてほしい。

(事務局) 各地区の人口に対する利用登録者の割合は芳井地区 5%程度、美星地区 2.5%程度である。

アンケート調査については、試行運行期間中ということもあり、今回は実際に利用している人の声を中心に把握するため、利用登録者を対象に実施している。

アンケート調査の回答では、「あいあいカー」と一般のタクシーで乗り継ぎをしているということだが、連携については特に取組を行っているわけではない。

早い時間帯の運行については、意見交換会や説明会でも要望があったが、バスの運行時間や一般のタクシーの稼働が多い時間帯と重なるため、現在は、以前に早い時間帯に運行していた「井原あいあいバス」の廃止区間に該当するエリアのみ特別便を 1 便運行している。今後、本格運行に向けて対応を検討していきたい。

(委員) 「あいあいカー」の利用者数推移では、芳井地区・西部エリアの 6 月の利用者数が急に増加しており、美星地区・南東部エリアが減少している。極端な変動が起こっているが理由はあるのか。

また、全体として朝の第 1 便と夕方の便での利用者が多く、どのような使い方をしているのか気になっている。芳井地区でも行きは第 1 便を利用し、帰りは 12 時台を利用する人もいれば 17 時台を利用する人もいると思われるので、移動の目的地等、傾向がわかっていれば教えてほしい。

(事務局) 利用者数の推移について、美星地区・南東部エリアは立地している企業の外国人研修生が複数人、定期的に利用していたため 4 月は利用者数が多かった。また、芳井地区・西部エリアは新規の利用者が増えていることがわかっているがその要因は不明である。

夕方に運行する便の利用が多い理由について、交通事業者へのヒアリングでは、買い物等の用事が終わって予約した場合、予約締切時刻の関係上、予約から 1 時間後に運行する便を利用することになるため、本来帰りたい時間から 1 時間程度、利用がずれ込んでしまうこともあると聞いている。

(委員) 美星地区の利用者の減少については、地元企業で働いている外国人研修生の利用が影響していると考えられているのか。また、芳井地区・西部エリアでは新規登録者が増えているという理解でよいのか。

(事務局) 推測の部分もあるが、その可能性はあると考えている。

(委員) 仮に芳井地区・西部エリアで利用登録者が増えたのであれば、その要因を調べてほしい。口コミや地域の人に誘われた等、要因はあるはずなので新規利用者へのヒアリングをしても良いと思う。

用事が済んで予約した後、商業施設で時間を潰していると予想されるが、まちなかで楽しんで時間を消費できる場所はどこにあるのか。市中心部へ

- 外出するのであれば、そこが楽しい場所でないと外出は促進されないため、まちづくりの観点も踏まえて考えていくことが重要である。
- (会長) 地域に出向いた際に、継続して利用しなくても一度は利用してほしいと話をしている。お試しで利用する人がいれば全体の利用者数が増えるため、今後は利用者数の急な増減も落ち着いてくるのではないかと考えている。
- (会長) 芳井～井原間のバス利用者が前年度から 1 週間でおよそ 90 人減少しており、「あいあいカー」の利用者数は 1 週間で 50 人弱であるため、全体の公共交通利用者が減少しているということなのか。
- (事務局) 指摘の通り数字を見ると減少しているが、乗降調査の時期が前年と異なっており、期間も 1 週間のみの調査であるため、バラつきがあると思っている。重要なポイントであるため今後も検証を続けたい。
- (委員) 井原市民病院まで障害者の付き添いで同行することがあるが、「あいあいカー」を利用する場合、受付の時間が遅くなり、検査等があると時間がかかるため、さらに買い物等の用事を済ませようと思うと 16 時以降の夕方の便を利用することになる。行きに「あいあいカー」を利用した場合は午後からの診察になるので、自分がサポートしている人は、16 時台の便を利用している人が多い。
- (委員) このような利用の状況を事務局から聞いたかった。公共交通を利用して通院する場合、丸一日程度時間がかかってしまい、自家用車との差が大きいため、例えば、「あいあいカー」の予約と市民病院の予約は連動できないのか。また診察後、公共交通を利用するまでの残り時間で買い物以外に利用者が楽しめるような視点も必要である。
- 「あいあいカー」は予約制であることから、誰がどのような使い方をしてるか把握できるため、利用傾向を細かく分析していけば、新しい「あいあいカー」の使い方が見えてくると考えている。
- (会長) 本日いただいた意見と課題を踏まえて、本格運行に向けての改善点を検討し、次回の公共交通会議で協議したい。

【協議事項承認】

2) 高梁市川上町仁賀佐屋地区における「あいあいカー」の運行について

- ・ 事務局より資料 2 について説明

- (委員) 「あいあいカー」は福山市側の地域も一部範囲に含まれていたと思うが、福山市の費用負担はあるのか。
- (事務局) 福山市の住民が利用した場合は按分して双方が費用負担することになっている。
- (委員) この案件では、高梁市の佐屋地区住民が井原市内の乗降場所から利用することだが、佐屋地区の方が井原の中心部まで乗った場合、佐屋地区の方が負担する運賃で当然運行費用を賄えないので、井原市が負担をする

という理解でよいのか。

(事務局) 福山市の場合と同様に、井原市と高梁市で按分して費用負担するというこ
とで話を進めている。

(会長) 質問・意見等がなければ 10 月から原案の通りに運行することで良いか。

【協議事項承認】

4. その他

1) 夏休み期間中の美星 B&G 海洋センタープールへの移動について

- ・ 事務局より説明

質疑・意見等なし

(事務局) 第 4 回公共交通会議は 8 月 22 日に予定しており、10 月からの本格運行に
向けた協議を行う。

5. 開会

(委員) 本日は熱心に議論いただき感謝している。「あいあいカー」については細か
い利用状況やアンケート調査結果が示されている中ではあるが、地元
に戻った際には「あいあいカー」の利用を勧めてもらいたい。

以上